

平成27年6月12日

〇〇 〇〇 様

大阪市長 橋下 徹

関西電力株式会社第91回定時株主総会における大阪市提案へのご賛同のお願い

拝啓 立夏の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は本市の行政全般にわたりまして、御理解と御協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故からはや4年以上が経過しておりますが、依然として被災地では懸命な復旧・復興に取り組まれている状況にあります。

このことから、原子力発電所においてひとたび重大事故が発生した場合、その被害が回復不可能なほど甚大なものであることが明らかとなっただけではなく、使用済み核燃料の処理体制が未だ確立していないことも考え合わせますと、我が国のエネルギー需給のあり方を根本的に見直し、原子力発電への依存から脱却する必要があると考えております。

一方、電力供給システムは、現代社会において市民生活や経済活動が円滑に運営されるために必要不可欠なインフラであり、安心かつ安価な電力が安定的に供給されるシステムを構築し維持していくことが求められているだけでなく、このような取組みは、関西電力株式会社にとっても中長期的な観点からの経営体質の強化、安定化につながるものであり、是非とも達成されるべき課題であると認識しております。

また、多様なエネルギー源の導入を促進し、供給力の向上と電気料金の安定化を図る必要があることから、国では広域的運営推進機関を設立するとともに、電力小売りの全面自由化、送配電部門の分離に向けた法制度の整備が取り組まれたところです。

こうした状況を踏まえ、本市は関西電力株式会社に対して、原子力発電から多様なエネルギー源への転換をはじめ、発送電分離に向けた事業形態、顧客の立場に立った新たなサービス事業の展開や安全文化の醸成などの経営方針の転換を求めて、来る平成27年6月25日に開催されます同社の第91回定時株主総会におきまして、別紙の内容を議題とするよう株主提案を行いました。

以上の趣旨に沿った今後の本市の取組みにご理解をいただきますとともに、本市提案にご賛同を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具